

ファーマネクスト

# PharmaNext

次世代を担う薬剤師のスキルアップをめざして

2004.6.10

No.6

特集  
1

Special Report

## 調剤過誤対策54のヒント

「つぐられた歩行不能」に  
薬剤師も関与していないか?!

特集  
2

**ジェネリック講座**  
—今、薬剤師に求められていること—

疾患別服薬指導の  
ポイントと解説  
第3回「喘息」

シリーズ

## 電子薬歴通信



### 電子薬歴活用レポート

# 03

## 西長岡調剤薬局 (新潟県長岡市)



西長岡調剤薬局 薬局長  
室橋 正朋 氏

### Data

スタッフ数	19名 (うち薬剤師10名)
応需処方せん枚数	300枚/日
主な処方せんの科目	全科
使用レセコン	三菱メリフィン
電子薬歴端末台数	7台 (うち3台投薬カウンター)
調剤支援シート使用の有無	有
電子薬歴導入時期	2001年8月



長岡市の中心部近くを流れる信濃川沿いにある長岡赤十字病院を背にするように建つ西長岡調剤薬局。2001年の設立当初からハイブリッジの電子薬歴システムを導入している。

導入のきっかけを管理薬剤師の室橋正朋氏は「薬歴棚のスペースを省きたかった」と話す。薬局建設地周辺は市街化調整区域のため、建坪が限られ、1日200枚以上の処方せんを応需するために必要な調剤室のスペース、薬のお渡しカウンター、そして患者待合スペースを確保するために、薬歴棚スペースを削減したかったそうだ。現在、1日300枚程度の処方せんを応需する同薬局では、「薬歴簿の出し入れの手間を考えても電子薬歴にしておいてよかったです」(室橋氏)と話す。

同薬局では調剤支援シートAに記載しスキャニングする方法を採用している。薬歴の充実を目指し、「もっとも記載スペースが広い支援シートAを選択した」(室橋氏)という。患者によっては様々なことを話してくれる人もいる。有用な情報を漏らさず記録しておくためには記載スペースは広いほどいい、というのがその考えだ。



調剤支援シートへの服薬指導の記入。多くの種類がある調剤支援シートの中でも記入欄が最も大きい支援シートAタイプを選択した。

### 流れのわかる薬歴を目指して

薬歴の記載に関しては「患者さんの薬物療法の流れがわかる薬歴」(室橋氏)を目指して、2年ほど前からSOAP形式を取り入れている。「服薬指導内容や、次回確認してほしいことなどを確実に記録するには、SOAP形式で整理して記載するのがわかりやすいと思った」という室橋氏は、自ら書籍を読み、トライアル的にSOAPで記載してみた後、薬局全体での導入に踏み切ったという。

同薬局のSOAPではA情報に、アセスメントだけでなくアンサー及びアドバイスを含めている。室橋氏とともに薬局のマネジメントやスタッフ教育に携わる大久保耕嗣氏は「アセスメントを書こうと思うと、どうしても筆が止まりがち。アセスメント&アンサーとして薬剤師が患者さんにどう答えたか、何をしたかをAに書くようにしたところ、書きやすくなったようです」と説明する。

また継続した服薬指導を行うために、P(PLAN)情報を充実させることも、薬歴記載時の注意点として、全薬剤師が心がけている点だ。今回担当した薬剤師は、前回薬歴のP情報を必ずチェックし、患者に確認する。聞いた内容はS(Subject:

薬のお渡しカウンターにはノートパソコンが並ぶ。



患者から聞いた情報)に記載するが、その際に、次回見直しが必要な患者さんの場合、前回のP情報との継続性がわかるようにしている。

「SOAPに慣れてきたこともあり、薬歴の内容がかなり充実してきたと思います」と大久保氏。その言葉どおり、シートいっぱいに記載された薬歴が並んでいる。

### 気になる相談には電話でフォロー

同薬局では開局当時から携帯電話で24時間、開局時間内外に問わず電話相談を受けてきた。相談内容や回答を記録、集計しており、2002年7月から2003年6月31までに同薬局に寄せられた相談は249件にものぼっている。相談内容は、飲み方、使用法、副作用、安全性など、薬に関することが多く、それらの合計は全体の4割を超えていた。

さらに同薬局では“気になる相談”に對しては、後に電話でフォローしているのが特徴だ。例えば「誤って2回分を一度に服用してしまった」という相談には、副作用が発現していないかを確認し、それらの症状が出た場合にはすぐに医師または薬剤師に連絡するように伝える。そして翌日、電話で副作用が出ないかヒアリングするのだ。

「気になりますから」と室橋氏が始めたことだが、今では“気になる患者には電話でフォローする”のが薬局全体で自然に行われており、電話相談に対するフォローは1割程度にのぼる。

電話相談は徐々に増えており、今年に入ってからの相談件数は昨年1年間の問い合わせ件数をすでに超えている。中には歯科医師からの「抜歯後に投与するNSAIDsは何にすべきか」との質問や、他薬局でもらった薬の問い合わせも。し



西長岡調剤薬局 スタッフのみなさん

かし室橋氏は「それはむしろ歓迎すべきことで、頼られる薬局、薬剤師になっていくということだと思います」。電話問い合わせには「処方せんも一緒に閲覧できる電子薬歴はとても便利」と付け加える。

「薬剤師には、患者さんの痛みを感じ、何を欲しているのかを捉えられる感性が重要だと思っています。Patient satisfaction(患者満足)を肌で感じられる薬剤師集団になっていくのが目標」と室橋氏は話している。

## 紙から電子へ、そして薬剤師支援へ。 電子薬歴「Live DB」、誕生。

### Live DBの新規搭載機能

- すぐに使える指導情報を整備した  
服薬指導ナビゲーション。
- 過去処方とも連動した  
充実の処方チェック機能。
- 業務のクオリティを高める  
各種データベース、附加機能。
- 服薬指導をサポートする医薬品ごとの指導例文
- 説明画面をチェックするだけで指導歴として登録
- 指導の説明内容と確認事項が整理され指導歴充実
- 初めて処方された医薬品を自動チェック
- 用法や用量変更のあった医薬品を自動チェック
- 全処方に対しての相互作用チェック
- 処方注意薬、採用中止薬の事前登録
- 添付文書、副作用、疾病情報のデータベース化
- 検査値の登録管理、家族の薬歴、患者の分類機能

### —電子薬歴、導入メリット—

#### 薬剤師業務サポート!

日々の事務作業の効率化  
薬歴簿に関わる時間短縮

#### 経営バックアップ!

薬歴簿の保管スペース不要  
高額処方せんの自動印刷

ハイブリッジなら  
操作はカンタン、  
手書きもOK!

**ハイブリッジ株式会社**

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-23サンタワーズB棟9F <http://www.hi-bridge.co.jp/>

TEL.03-5779-6661 FAX.03-3419-5512